



感染症週報



小笠原での流行状況

第13週（3月24日から3月30日まで）

父島 感染性胃腸炎の報告がありあました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

第12週（3月17日～3月23日）

【警報・注意報】

なし

村内でも報告されています

【ピックアップ】

高い水準を維持

- ・感染性胃腸炎
（定点患者報告数 10.73）
- ・伝染性紅斑（リンゴ病）
（定点患者報告数 0.63）

増加しています

- ・百日咳

若干高めです

- ・インフルエンザ
（定点患者報告数 1.94）
- ・水痘
（定点患者報告数 0.49）

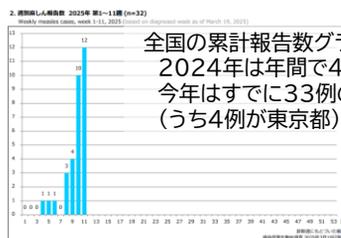
水痘（都 定点報告数）



いま気を付きたい感染症

ワクチンで予防できる 麻疹

3月に入り全国で麻疹患者が報告されています。特に、海外から持ち込まれるケースが増加しています。今後、海外から持ち込まれる事例のほか、国内で感染が伝播していく可能性があります。麻疹はワクチンで防げる病気です。有効な予防方法であるワクチン接種をしっかりと行いましょう。



全国の累計報告数グラフ
2024年は年間で4例
今年はずでに33例の報告
（うち4例が東京都）

ここが怖い麻疹



- ・感染力が強い
- ・肺炎や脳炎になることがある

長引く咳に要注意 百日咳

昨年春ごろから報告数が増加傾向です。また、先々週の報告数は過去5年間で最多となりました。

ここが怖い百日咳



- ・感染力が強い
- ・重症化することがある

過去5年の百日咳報告数(東京都)



感染症メモ

出典、参考：東京都感染症情報センター 日本細菌学会

百日咳は乳児が感染すると、強いけいれん性の咳発作に発展することがあり、特に生後6か月未満では死に至る危険の高い疾患です。成人では、咳は長期間続くものの、比較的軽い症状で経過することが多く、感染源となってしまうことがあります。百日咳も感染力が強く、接触や飛沫で感染しますが、抗菌薬で治療することができます。百日咳の感染拡大防止には早めの診断と治療が大切です。

麻疹（はしか）は感染の約10～12日間の潜伏期間の後、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状と発疹が現れます。全身の免疫力が低下するため、合併症を併発することがあります。合併症の半分は肺炎ですが、脳炎を発症することもあります。麻疹は主に空気感染で広がり、非常に感染力が強いのが大きな特徴です。治療薬もないため、ワクチンでの感染拡大防止が重要です。

3月は自殺対策強化月間です



生きていくのが
つらいと感じた
ときの相談先



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所